

1 主題名 心からの思いやり

2 資料名 「おばあさんのなみだ」

3 ねらい だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。(2-2) 思いやり・親切

4 主題について

(1) 価値について

「思いやり」とは、自分の身と比べて人の身を思いやること、つまり「相手の立場に立ち」いわたりの心をもつことである。「親切」とは、思いやりの心情から出た行為であり、相手を人格として尊重し、しかも、相手を信頼しながら、ともに弱さや不幸を乗り越えようとすることである。

社会生活は、人とかかわりなしでは成り立たない。人と人とかかわりの中で望ましい生き方をしていくためには、相手の立場に立って物事を考え、行動するという「思いやり・親切」の心が大変な基盤となっている。また、これは、相手の状況や気持ちが自分のこととしてとらえることによって、行いとして出てくるものである。

(2) 児童の実態

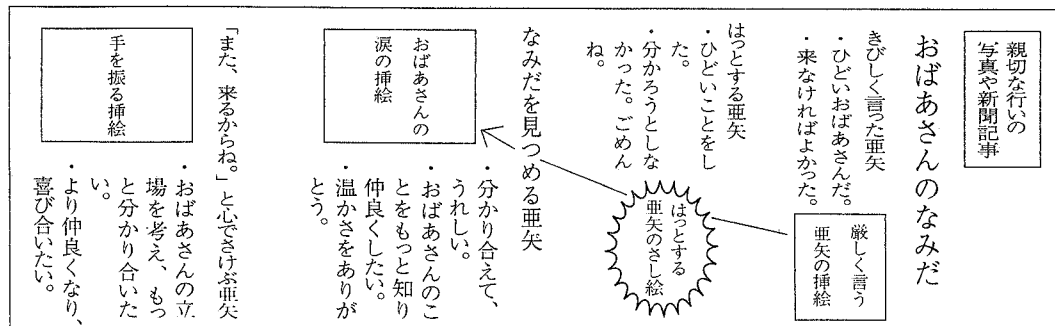
高学年期の子供たちは、行動範囲も広がり、多くの人たちと接するようになる。そして、親切にしたり、親切にされた経験も多くもっている。また、親切にしなければいけないということも観念的には知っている。しかし、実践するとなると、その場の状況により踏み切れなかったり、親切にしても相手の立場への配慮が欠け、受け入れてもらえないこともある。

このことを踏まえて、本資料では人の苦しみや悲しみに触れて心を動かし、何かせずにはいられないという、相手の立場に立って考える心情を育てたい。

(3) 資料について

本資料は、「思いやり・親切」の価値を実現する主人公の姿を追究していくものである。主人公の亜矢は、特別養護老人ホームを訪問し、体の不自由な痴呆症のお年寄りの方と出会う。食事のときのお年寄りの行動に腹を立て、亜矢は厳しく言うてしまう。ところが、このお年寄りに対して、にこやかに対応するヘルパーの姿やお年寄りの苦労話も聞き、亜矢は、はっとする。高齢化が進む社会の中で、亜矢が老人の寂しさや苦労に気づき、同情ではなく、同じ人間として自分にできることを相手の立場に立ってしようとする姿を描いている。そして、別れのとき、さらに亜矢は心の通い合いを実感する。

5 板書例



6 展開例

過程	主な学習活動（・子供の意識）	指導上の留意点
導 入	<p>1 親切な行いについて、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テレビや新聞などで親切な行いを見聞きしたことはないか。また、それはどんなことか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震や火災の中の人命救助 ・ 街角での小さな親切など。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な事例だけでなく、広い視野で考えさせるようにする。 ○ 価値への方向付けをする。
展 開	<p>2 資料「おばあさんのなみだ」を読み、亜矢の気持ちの動きを中心に話し合う。</p> <p>(1) 亜矢さんは、おばあさんに、厳しく言ってしまったのは、どんな気持ちからだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人のことを考えないおばあさんの行動に驚いてしまったから。 ・ 食事のきちんとできないおばあさんが許せなかった。来なければよかったなあ。 <p>(2) ヘルパーさんの話を聞いて、亜矢さんがはっとしたのは、どうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おばあさん、ごめんなさい。ひどいことをしてしまった。 ・ おばあさんのことを分かってあげられなかった自分が、悲しくなった。 <p>(3) おばあさんの涙を見て、亜矢さんは、どんな気持ちになっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おばあさんの温かさに触れて、うれしい。 ・ おばあさんの寂しさや苦勞を知って、おばあさんともっと心を通わせたい。 <p>(4) 亜矢さんが「また、来るからね。」と何度も何度もさげんだのは、どんな気持ちからだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっとおばあさんと仲良くなり分かり合いたい。 ・ おばあさんと喜び合いたい。 <p>3 相手の立場を考え、思いやりをもち、親切にできたかどうか、今までの自分を見つめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほくにも、似たようなことがあったな。 ・ 親切にしたつもりなのに、分かってもらえないことがあった。相手の思いを知り、立場を考えていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合ってみたい場面に線を引かせる。 ○ 場面絵を使って、問題場面を設定する。 ○ いたわろうとする亜矢の前で、突然の痴呆症のおばあさんの行動。戸惑う亜矢の気持ちを考えさせる。 ○ おばあさんやヘルパーとの中で、苦悶する亜矢の姿を共感的にとらえさせたい。 ○ 亜矢の相手の立場に立ったひたむきさと、おばあさんの境遇について考え、親切にすることがどんなに人の心を動かすかとらえさせたい。 ○ 亜矢の心情に共感させ、よりねらいとする価値に迫らせる。 ○ 親切にした経験を想起しながら、親切にするとはどういうことか、改めて考えさせる。
終 末	<p>4 親切にされた人の喜びが書かれている新聞記事や児童の日記を紹介し、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にふさわしい記事等で自分の生き方を深く考えさせる。